

1 今年（H27）の傾向

総評・講評（大問毎に）

文系

1 (空間ベクトル)

ベクトルの大きさの計算をわかりとして、平方完成をして、中心の座標を出す。計算ミスにしないようにしよう。

2 (接線、軌跡)

(1)は出まてほしい。(2)以降は接する条件から、 $a$ の式にたおし、考えていく。文系には可成り解きにくいであろう。

3 (確率)

出た目2つの積の表をつくって考えてみよう。解ききつてほしい問題である。

4 (面積)

絶対値をわかりはすべし。領域を図示することにこだわれば、それを見ながら、面積を求めればよい。

総評

微積、ベクトル、確率、他の分野から1題という東北大文系らしい問題構成であった。例年通りの難易度である。

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

文学部	%
教育学部	%
法学部	%
経済学部	60 %
保健／看護	%
〃 検査	%
〃 放射線	%

3 来年受験する生徒へのアドバイス

微分積分, ベクトル, 確率 が東北大文系での頻出分野である  
 その分野をしっかりと練習しておくことが大切である  
 標準レベルの問題集を1冊しっかりと演習しておく。